

J R 四国と台湾鉄道観光協会は「鉄道観光促進に関する連携協定」を締結しました

2026年8月19日

四国旅客鉄道株式会社

台湾鉄道観光協会

四国旅客鉄道株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役社長：四之宮 和幸、以下「JR四国」）と台湾鉄道観光協会（所在地：台湾台北市、理事長：周永暉）は、鉄道を軸とした四国と台湾の観光振興並びに相互交流の促進を図るため「鉄道観光促進に関する連携協定」を締結しました。

これまでJR四国は、2013年にJR四国松山駅と台湾鉄路松山駅が同名駅であることを契機とした「友好駅協定」の締結を皮切りに、台湾鉄路、台北メトロ、台湾観光署と協定等を締結し、四国と台湾の相互交流促進に取り組んできました。

今回、台湾における鉄道観光振興に取り組む台湾鉄道観光協会との新たな連携により、これまで培ってきたネットワークをさらに発展させ、四国と台湾双方の鉄道観光の魅力を発信するとともに、相互の観光誘客や交流促進に取り組めます。

1 協定の概要

（1）協定名称

鉄道観光促進に関する連携協定

（2）締結日

2026年8月19日（水）

（3）協定の目的

鉄道を軸とした四国と台湾の観光振興並びに相互交流の促進を図ることを目的とします。

2 主な連携事項

（1）四国と台湾の鉄道観光に関する情報発信および相互PR

（2）鉄道を活用した観光商品の造成・販売促進

（3）四国と台湾双方への観光誘客および相互送客の促進

（4）鉄道観光に関するイベント・キャンペーン等の連携

（5）鉄道観光に関する情報・知見の共有

（6）その他、両者が必要と認める鉄道観光促進に関する事項

3 協定締結式

（1）日時

2026年8月19日（水）

（2）場所

H i l t o n T a i p e i S i n b a n（所在地：台湾新北市）

(3) 協定締結者

四国旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 四之宮 和幸
台湾鉄道観光協会 理事長 周永暉

(4) 立会人

台湾交通部 政務次長 伍勝園
公益財団法人日本台湾交流協会 台北事務所代表 片山 和之

4 代表メッセージ

(1) 四国旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 四之宮 和幸

今回の協定締結を契機に、これまで台湾の皆さまと築いてきた交流をさらに発展させ、四国の鉄道や沿線地域が持つ魅力を台湾の皆さまに広く発信していきたいと考えています。

観光列車をはじめ、鉄道を利用して四国を巡る旅の魅力をお伝えすることで、台湾から四国を訪れるお客さまのさらなる増加につなげるとともに、鉄道を通じた日台双方の観光交流を一層促進してまいります。

(2) 台湾鉄道観光協会 理事長 周永暉

台湾と日本は、鉄道産業や観光資源に共通する特色を有しており、これまで10年以上にわたり、鉄道文化や観光交流を通じた協力を積み重ねてきました。こうした長年の交流が、今日の日台における鉄道観光の発展につながっています。

四国では、高松空港、松山空港、高知空港と台湾を結ぶ定期航空便が運航されており、台湾と四国を結ぶ交流の基盤が整っています。今回のJR四国との協定締結を契機に、日台の鉄道観光交流をさらに深め、今後、双方が鉄道観光商品の開発等に取り組むことで、日台間のさらなる観光交流と鉄道観光の発展につなげていきたいと考えています。

【参考】 J R 四国と台湾の主な連携の歩み

2013年10月13日	J R 四国「松山駅」と台湾鉄路管理局「松山駅」が「友好駅協定」を締結
2016年 2月25日	J R 四国と台湾鉄路管理局が「友好鉄道協定」を締結
2019年 7月18日	J R 四国と台湾交通部観光局が「鉄道観光協力に関する覚書」を締結
2024年 4月19日	J R 四国「藍よしのがわトロッコ」と台湾鉄路「藍皮解憂號」が「姉妹列車協定」を締結
2025年 3月15日	J R 四国と台北メトロが「友好協定」および「松山駅姉妹駅協定」を締結
2025年 7月14日	J R 四国と台湾交通部観光署が「鉄道観光協力に関する覚書」を締結 (再締結)
2026年 8月19日	J R 四国と台湾鉄道観光協会が「鉄道観光促進に関する連携協定」を締結